

令和6年度 決算の概要

滋賀県近江八幡市
令和7年10月

1. 各会計の歳入歳出の状況

- 一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算は、**全会計黒字決算**です。
- 普通会計決算規模は**歳入歳出ともに過去最大**となりました。
- 普通会計の歳入総額は**524億1,328万7千円**（対前年度15.4％ 70億377万4千円の増）です。
大型施設整備実施による国庫支出金及び市債の増、ふるさと応援寄附金の増等により増加しました。
- 普通会計の歳出総額は**513億1,631万2千円**（対前年度16.7％ 73億3,496万7千円の増）です。
新市庁舎整備事業や第79回国民スポーツ大会整備事業による普通建設事業費の増、低所得者支援及び定額減税補足給付金事業や障害福祉サービス等給付事業による扶助費の増等により増加しました。

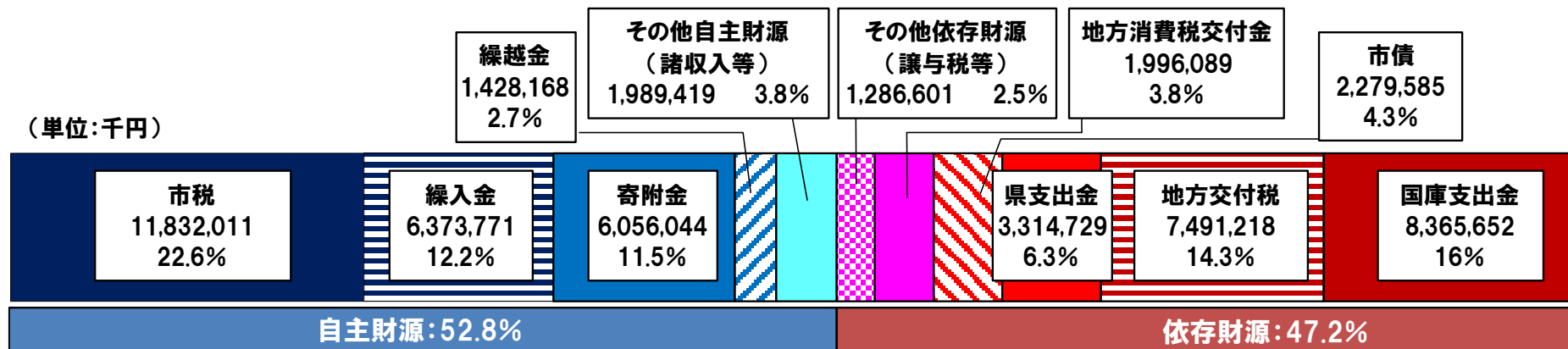
（単位：千円）

会 計 名		歳 入		歳 出		歳入歳出差引額		翌年度繰越財源		実質収支額	
			前年度比		前年度比		前年度比		前年度比		前年度比
普 通 会 計 ※ 1		52,413,287	115.4%	51,316,312	116.7%	1,096,975	76.8%	491,883	94.2%	605,092	66.8%
一 般 会 計		52,395,363	115.4%	51,298,685	116.7%	1,096,678	76.8%	491,883	94.2%	604,795	66.8%
特 別 会 計	文 化 会 館 事 業	77,275	101.3%	76,978	101.3%	297	99.3%	0	—	297	99.3%
	国 民 健 康 保 険	7,503,295	97.5%	7,484,402	97.7%	18,893	54.8%	0	—	18,893	54.8%
	後 期 高 齢 者 医 療	1,295,863	112.7%	1,292,859	112.7%	3,004	104.3%	0	—	3,004	104.3%
	介 護 認 定 審 査 会 共 同 設 置 事 業	33,340	105.9%	33,340	105.9%	0	—	0	—	0	—
	介 護 保 険 事 業（保 険 事 業 勘 定）	6,930,670	101.0%	6,867,989	103.0%	62,681	32.0%	0	—	62,681	32.0%
	介 護 保 険 事 業（サ ー ビ ス 事 業 勘 定）	10,880	114.7%	10,880	114.7%	0	—	0	—	0	—
公 営 事 業 会 計 計		15,774,048	100.2%	15,689,470	101.1%	84,578	36.3%	0	—	84,578	36.3%

※1 普通会計(一般会計+文化会館事業特別会計)は、会計間で取引される経費を純計除外しているため各会計の合計と一致しません。

2. 普通会計 歳入

歳入決算額 524億1,328万7千円（対前年度＋15.4％）



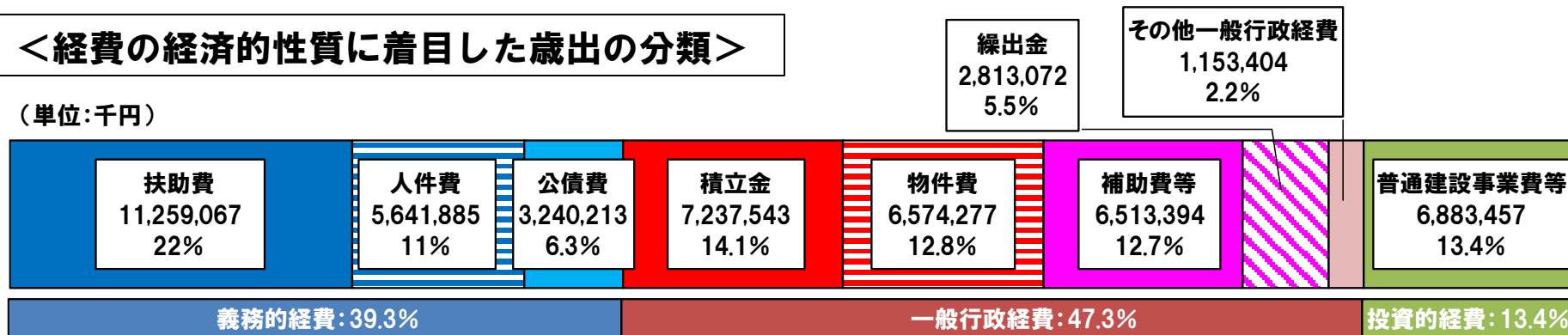
- 市税（▲110,521千円、対前年度▲0.9％）
主要法人による受注が堅調であること等により法人市民税は増加したものの、定額減税の実施により個人市民税が減少し、全体として減少しました。なお、定額減税減収分は特例交付金として全額措置されています。
- 繰入金（＋1,264,850千円、対前年度＋24.8％）
ふるさと応援基金の更なる活用や臨時財政対策債繰上償還に伴う減債基金の取崩しにより増加しました。
- 寄附金（＋412,483千円、対前年度＋7.3％）
ふるさと応援寄附の好調により増加しました。
- 国庫支出金（＋1,621,055千円、対前年度＋24.0％）
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金や国民スポーツ大会野球場整備の社会資本整備総合交付金、制度が拡充された児童手当交付金、報酬や公定価格が改定された障害者自立支援給付費、子どものための教育・保育給付費の増により増加しました。
- 地方交付税（＋395,987千円、対前年度＋5.6％）
子ども子育て費の創設による基準財政需要額の増加や国補正（1号）に伴う臨時経済対策費、給与改定費の臨時費目の追加により増加しました。
- 県支出金（＋309,542千円、対前年度＋10.3％）
障害者自立支援給付費、子どものための教育・保育給付費や重層的支援体制整備事業の増により増加しました。
- 市債（＋1,849,925千円、対前年度＋430.6％）
新市庁舎整備事業にかかる合併推進債や国民スポーツ大会野球場整備にかかる補正予算債の借入により増加しました。

3. 普通会計 歳出（性質別内訳）

歳出決算額 513億1,631万2千円（対前年度＋16.7％）

＜経費の経済的性質に着目した歳出の分類＞

（単位：千円）

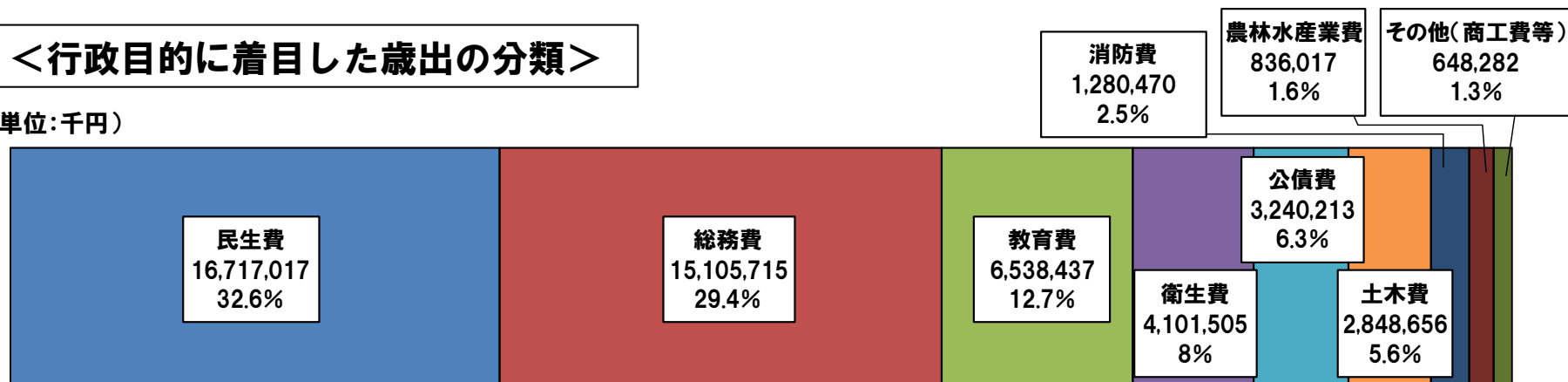


- ・ 扶助費（＋1,423,645千円、対前年度＋14.5％）
物価高騰対策等に伴う低所得世帯への給付事業や障がい福祉サービス等給付事業の増、施設型給付事業や児童手当制度拡充による児童手当の増により増加しました。
- ・ 人件費（＋536,736千円、対前年度＋10.5％）
人勧準拠による給与プラス改定や期末・勤勉手当の支給月数増に伴う職員給の増、会計年度任用職員勤勉手当の支給開始、定年年齢引き上げに伴う退職手当の増により増加しました。
- ・ 公債費（＋831,812千円、対前年度＋34.5％）
H26臨時財政対策債繰上償還の実施により増加しました。
- ・ 積立金（▲60,664千円、対前年度▲0.8％）
公共施設等整備基金への積立減により減少しました。
- ・ 物件費（＋520,383千円、対前年度＋8.6％）
新型コロナワクチン定期接種や市民バス土曜日運行開始による委託料の増、ふるさと応援寄附好調に伴う手数料の増等により増加しました。
- ・ 補助費等（＋161,209千円、対前年度＋2.5％）
国民スポーツ大会のリハーサル大会に伴う負担金、省エネ家電買換え補助事業の実施等より増加しました。
- ・ 繰出金（＋30,124千円、対前年度＋1.1％）
後期高齢者健診事業の実施による後期高齢者医療広域連合医療費負担金の増等により増加しました。
- ・ 普通建設事業費等（＋3,749,492千円、対前年度＋119.6％）
新市庁舎整備事業や国民スポーツ大会施設整備事業等で大きく増加しました。

4. 普通会計 歳出（目的別内訳）

<行政目的に着目した歳出の分類>

（単位：千円）



- 民生費（+1,953,829千円、対前年度+13.2%）
低所得者支援及び定額減税補足給付金事業や障がい福祉サービス等給付事業、施設型給付事業等の増により増加しました。
- 総務費（+1,831,521千円、対前年度+13.8%）
新市庁舎整備事業や関連する庁舎ネットワーク基盤構築や情報系端末購入費の増、ふるさと応援寄付の増による返礼事務費の増等により増加しました。
- 教育費（+1,914,844千円、対前年度+41.4%）
国民スポーツ大会施設整備事業やリハーサル大会に伴う運営準備負担金の増、老蘇小学校トイレ改修や北里学区認定こども園施設整備の増により増加しました。
- 衛生費（+341,184千円、対前年度+9.1%）
地球温暖化対策による省エネ家電買換え補助事業の実施や新型コロナウイルスワクチン、HPVワクチン接種の増により委託費の増、水道事業会計が実施する重要管路耐震化事業への出資の増により増加しました。
- 公債費（+831,812千円、対前年度+34.5%）
H26臨時財政対策債繰上償還の実施により増加しました。
- 土木費（+325,364千円、対前年度+12.9%）
野村外周道路の整備や近江八幡駅北口エスカレーター改修工事の実施により増加しました。
- 消防費（+317,152千円、対前年度+32.9%）
同報系防災行政無線整備により増加しました。
- 農林水産業費（▲258,905千円、対前年度▲23.6%）
桐原馬淵Ⅰ期地区団体営農道整備事業の減等により減少しました。

5. 主な事業①

○新しい庁舎の整備

市庁舎整備工事は、令和8年1月の供用開始に向けて実施設計を完成し、基礎工事や鉄骨工事などを行いました。



(単位：千円)

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
1,205,626	0	1,013,600	189,910	2,116
現年事業費	1,205,626			
繰越事業費	0			

公共施設等整備基金充当

○あかこんバスの運行充実

市民バス（あかこんバス）は、従来の運行に加え、土曜日運行を令和6年4月から開始し、利便性の向上を図りました。



(単位：千円)

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	他	一般財源
123,805	0	0	29,469	94,336
現年事業費	123,805			
繰越事業費	0			

5. 主な事業②

○安土コミュニティエリアの整備

整備用地（安土小学校・コミュニティセンター・消防分団詰所・放課後児童クラブ）の取得を完了しました。また、建物の最終配置計画を決定し、造成・建築設計に着手しました。進捗状況は、二次元コードから確認いただけます。



(単位：千円)

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
283,473	0	56,600	210,708	16,165
現年事業費	283,473			
繰越事業費	0			

公共施設等整備
基金充当

○安土福祉センターに指定福祉避難所を整備

医療機器を常時使用する重度身体障がい児者などが直接避難できる市直営「指定福祉避難所」を新設しました。電気自動車のバッテリー電気を施設に使用できる設備工事（V2H）のほか、ポータブル電源、ソーラーパネルやワンタッチパーテーションなどの備品整備を行いました。

※直接避難には、個別避難計画の作成が必要です。



(単位：千円)

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
6,133	0	0	6,133	0
現年事業費	6,133			
繰越事業費	0			

福祉基金充当

5. 主な事業③

○家計応援商品券配布事業

エネルギーや食糧品などの物価高騰対策として、全市民を対象に、市内の店舗で利用できる「家計にプラス“たすカル”チケット」を1人あたり3,000円分配布しました。



(単位：千円)

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	他	一般財源
260,310	0	0	0	260,310
現年事業費	260,310			
繰越事業費	0			

地方創生臨時交付金
うち125,512千円

○全市域を対象とする新たな防災行政無線システムを整備

旧安土町のみに整備されている防災行政無線を、災害情報伝達ルート多重化を図るために、全市域を対象とする新たな防災行政無線システムを整備するとともに、避難情報等の災害情報を文字表示できる個別受信機も整備しました。



(単位：千円)

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	他	一般財源
330,404	0	323,900	0	6,504
現年事業費	330,404			
繰越事業費	0			

5. 主な事業④（ふるさと応援寄附金活用事業）

○安全で快適に利用できるスポーツ施設

スポーツを推進するため、運動公園の野球場や広場、体育館の改修工事のほか、あづちマリエートの照明設備の改修、サン・ビレッジ近江八幡の床・トイレ改修工事などを行いました。これらの施設は、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の競技施設としても活用されます。



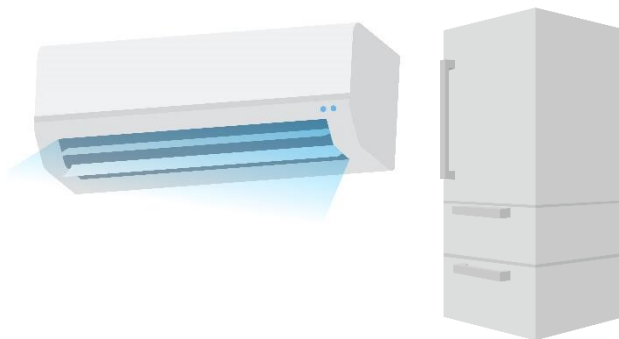
（単位：千円）

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金等	一般財源
2,258,149	932,205	400,000	578,799	347,145
現年事業費	690,123			
繰越事業費	1,568,026			

うち、ふるさと応援寄附金 541,051千円

○省エネ家電の買換えを支援

家庭における温室効果ガス排出量の削減により脱炭素社会を実現するために、家庭で消費電力量が高いエアコンや冷蔵庫など、一定の基準を満たす省エネ製品への買換えを支援しました。



（単位：千円）

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
125,353	0	0	125,353	0
現年事業費	125,353			
繰越事業費	0			

ふるさと応援寄附金全額充当

5. 主な事業⑤（ふるさと応援寄附金活用事業）

○就学前施設の遊具を更新

老蘇こども園、武佐こども園、馬淵こども園、安土幼稚園の老朽化が進んでいた複合型遊具を撤去し、新しい遊具を設置しました。園児たちは新しい遊具に大はしゃぎでした。



（単位：千円）

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
22,198	6,377	0	15,821	0
現年事業費	22,198			
繰越事業費	0			

うち、ふるさと応援寄附金 15,821千円

○武佐診療所を整備

早期発見と早期治療により市民の健康と重症化予防につなげるため、0次予防センター2階に武佐診療所を開設しました。



（単位：千円）

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
28,583	0	0	28,583	0
現年事業費	28,583			
繰越事業費	0			

ふるさと応援寄附金全額充当

5. 主な事業⑥（ふるさと応援寄附金活用事業）

○スペシャルサポートルームを運営

登校しても教室に入れない、入りづらい児童生徒の居場所として、公立小中学校にスペシャルサポートルームを設置し、支援員を配置しました。

（単位：千円）

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
15,857	5,986	0	9,871	0
現年事業費	15,857			
繰越事業費	0			

うち、ふるさと応援寄附金 9,871千円

○乳児おむつ等の支給

乳児がいる家庭の経済的負担の軽減や子育て不安の解消、子育て支援サービスの情報提供等を目的に乳児おむつ等の支給を行いました。

（単位：千円）

本年度 事業費	財源内訳			
	国・県	市債	繰入金	一般財源
25,385	12,692	0	12,693	0
現年事業費	25,385			
繰越事業費	0			

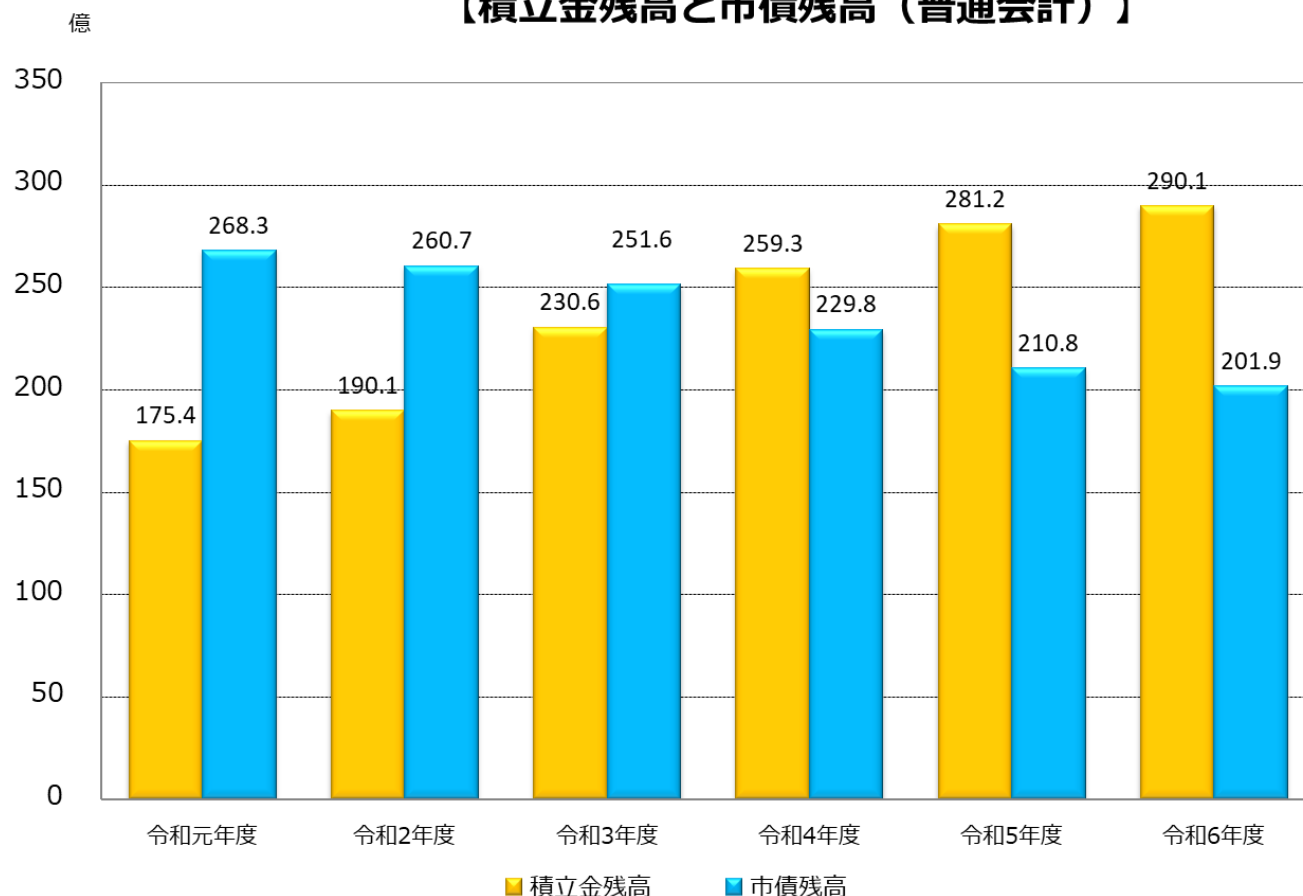
うち、ふるさと応援寄附金 12,693千円

令和6年度総配達件数
6,154件



6. 積立金（貯金）と市債（借金）の状況

【積立金残高と市債残高（普通会計）】



< 積立金残高 >

市民1人あたり

35万4,883円

市民 81,742人
(R7.3.31現在)

< 市債残高 >

市民1人あたり

24万6,998円

市民 81,742人
(R7.3.31現在)

- ・ 積立金残高…290億882万4千円（対前年8億8,818万5千円増加）
ふるさと応援寄附金の好調により、積立金残高は増加しました。
- ・ 市債残高…201億9,014万1千円（対前年8億8,708万6千円減少）
臨時財政対策債を繰上償還したことにより、市債残高は減少しました。

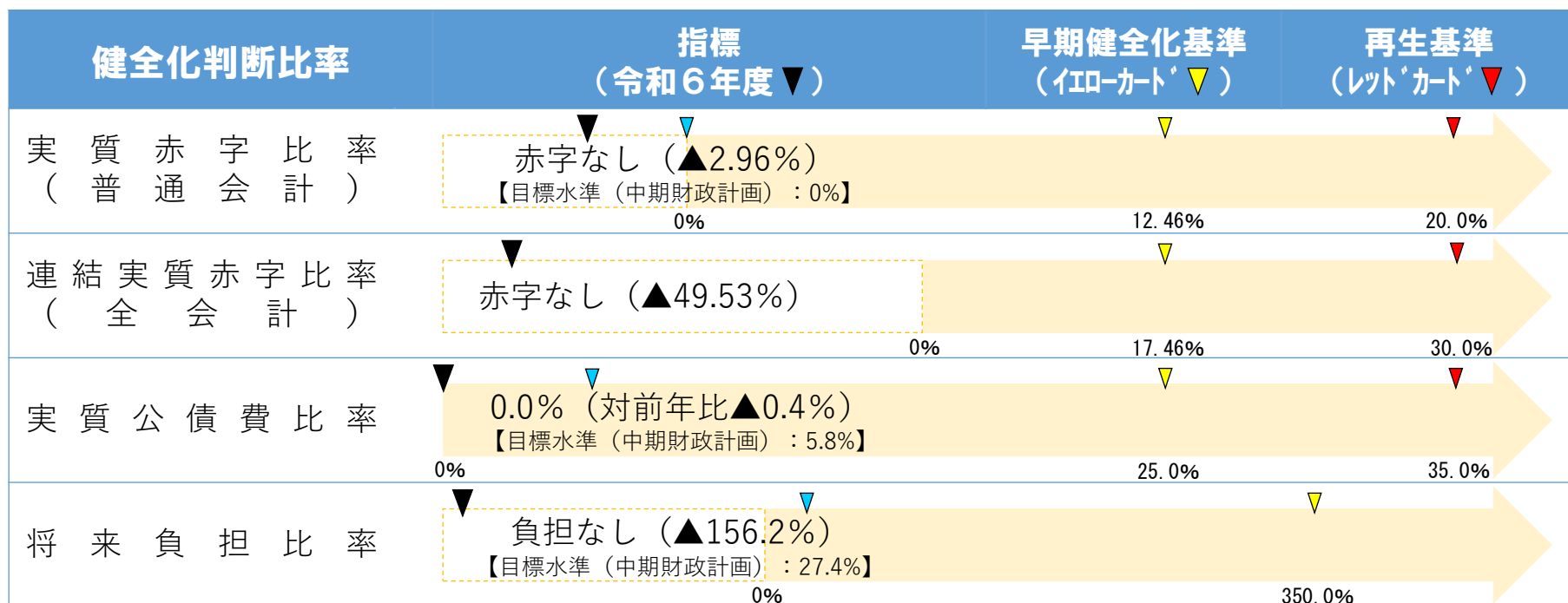
7. はちまん家の家計簿

市の令和6年度普通会計決算額(歳入)を年収536万円(※)の世帯に見立て、
1カ月あたりの家計簿に置き換えると・・・

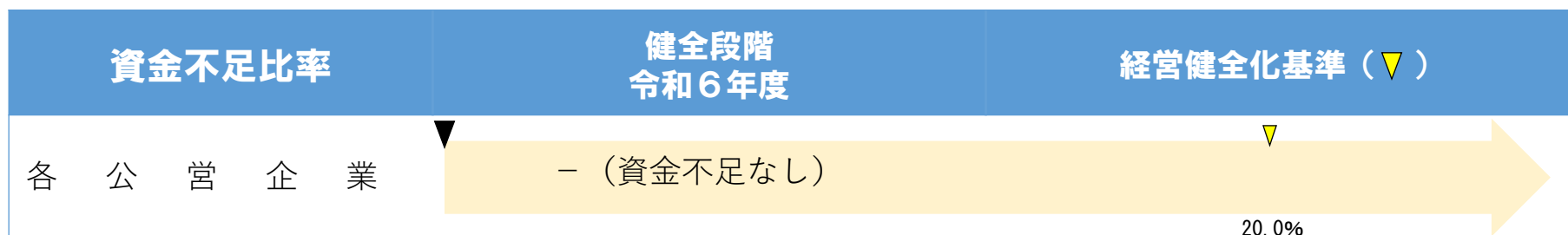
収入				支出			
令和5年度からの増減				令和5年度からの増減			
給与(基本給)	市税	100,830円	(▲1,010円)	食費	人件費	48,082円	(+4,789円)
給与(能力給)	国庫支出金 地方交付税 譲与税等	141,589円	(+20,543円)	家族の医療費・ 養育費等	扶助費	95,948円	(+11,985円)
給与(諸手当)	県支出金・ 県税交付金	49,766円	(+4,653円)	ローンの返済	公債費	27,616円	(+7,063円)
パート収入	使用料・手 数料、分担 金・負担金、 寄附金など	68,565円	(+6,478円)	生活用品・ 光熱水費	物件費	56,024円	(+4,422円)
繰越金	繰越金	12,175円	(+2,348円)	自宅の修繕費用	投資的経費、 維持補修費	60,524円	(+32,099円)
貯金の取崩し	繰入金	54,316円	(+10,989円)	自治会費・友人 へのお祝金	補助費等 投資・出資 金、貸付金	63,465円	(+2,242円)
ローン(借金)	市債	19,425円	(+15,852円)	子どもへの仕送り	繰出金	23,975円	(+359円)
収入合計		446,666円	(+59,853円)	貯金	積立金	61,674円	(▲424円)
				支出合計		437,308円	(+62,535円)
				余り		9,358円	
貯金の残高		297万円	(+9万円)	ローンの残高		206万円	(▲9万円)

※2024国民生活基礎調査における2023年の1世帯当たりの平均所得金額

8. 健全化判断比率などの状況



▼ : R6数値 ▼ : 目標水準



全指標とも健全化基準をクリアしています。また、全指標において前年度より良化しており、中期財政計画における目標水準を達成しています。



滋賀県近江八幡市総務部財政課

〒523-8501

滋賀県近江八幡市桜宮町236番地

T E L 0748-36-5750

F A X 0748-32-3237

E-mail 010412@omihachiman.lg.jp

市HP <https://www.city.omihachiman.lg.jp>